

平成 29 年第 4 回可児市議会定例会 委員会代表質問通告一覧表 9 月 7 日（8 日・11 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	板津 博之 (総務企画委員会)	<p><u>1. 災害時の情報発信及び災害対策本部の体制について（総務部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>8 月 18 日夜から 19 日未明にかけての豪雨では、避難勧告や避難指示が発令されたが、市HPへの災害情報の更新が遅れるなどの問題があったと聞く。災害時の情報発信及び災害対策本部の体制について問う。</p>
2	高木 将延 (建設市民委員会)	<p><u>1. 汚染土壌処理施設への対応について（市民部長・建設部長・観光経済部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>二野地区に建設される汚染土壌処理施設が 9 月下旬に着工、来年 6 月には完成することのことで、市民生活への影響、周辺住民及び企業への配慮等、本市の対応を問う。</p>

平成 29 年第 4 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9 月 7 日（8 日・11 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1. 「マイナンバーカード」を活用した地域経済好循環施策への対応は（市民部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>マイナンバーカードを活用した地域経済好循環システムの構築を進めるためにマイキープラットフォームを活用した地域経済応援ポイントの導入による消費拡大施策の方針が出された。本市の対応や考えは。</p> <p><u>2. 中学校の部活動のあり方について見解を問う（教育長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>教職員の多忙化の一因になっていると指摘される学校の部活動について、学校に外部人材が単独で部活動を指導・引率できる「部活動指導員」が置けることになった。中学校の部活動に対する本市の考えは。</p>
2	天羽 良明 (誠颯会)	<p><u>1. 安心のまち可児をどうつくるか（教育長・総務部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>子育て世代が住みたいと感じるまち、犯罪のない安全・安心なまちを実現するため、自らを守る教育指導と防犯カメラの設置をする時期ではないか。</p>
3	田原 理香 (誠颯会)	<p><u>1. 市内における太陽光発電施設の現状と今後の対策について（建設部長・市民部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>市内では、太陽光発電施設が続々と設置されている。現状では設置に何ら規制はなく、地域住民からは安心安全、災害等に不安の声があがっている。市は現状をどのように把握しどう対策を講じたか。また今後の対策は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
4	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 核兵器禁止条約の推進を (総務部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>本年7月に国連で核兵器禁止条約が採択された。被爆者の長年の運動で、ようやく実現した。可児市議会では、平成21年核兵器廃絶の国際条約締結に関する意見書を国へ送付した。核兵器禁止条約についての市長の見解は。</p> <p><u>2. 介護保険で起きていること、これから起こること (福祉部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>現在第6期介護保険事業計画が進められているが、要支援1・2の人が保険給付から外され、市で行う総合事業に移された。今後はさらにサービスの切り下げが進む。介護保険の現状と来期の見通しを聞く。</p>
5	高木 将延 (誠颯会)	<p><u>1. Kanisuki 若者プロジェクトの今後の展開について (観光経済部長・企画部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>新たに始まった「Kanisuki 若者プロジェクト」が住みごごち一番・可児の実現にどのような役割を担うのか、今後の展開について問う。</p>
6	川合 敏己 (誠颯会)	<p><u>1. 空き地の適正な管理に向けて (市民部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>本市内には、管理が行き届いていない空き地がまだ多くあるように感じる。雑草が繁茂するなど、空き地の周辺地域や環境に対する影響は決してよいものとはいえない。本市の取り組みと対策を問う。</p> <p><u>2. 地区センター移行にあたり公民館のエレベーター設置の検討を (市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>エレベーター設置がなされていない公民館がある。地区センター移行にあたり、妊産婦、ご年配、障がいを持った方々も利用し易いように施設のバリアフリーを推進し、エレベーター設置を前向きに検討すべきではないか。</p>
7	山田 喜弘 (可児市議 会公明党)	<p><u>1. 教職員の勤務時間の適正化と学習環境の整備について (教育長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>教職員の時間外勤務時間の削減及び休暇取得促進対策並びに学校閉校日の取り組みについて問う。また、特別教室へのエアコン設置について見解を問う。</p> <p><u>2. カラーユニバーサルデザインの取り組みについて (教育長・総務部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>日本人の男性20人に1人、女性500人に1人、色覚異常の人がいるといわれている。学校における教職員に対する知識の普及等はどうか。また、公文書等のカラーユニバーサルデザインに対する取り組みを問う。</p>

8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 来年度の市国保税負担について (福祉部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>国保制度が平成 30 年度から広域化されるが国保税の負担水準が定かでない。市民負担を軽減した今年度水準を維持し、市民生活を擁護してゆくべきだが市の考えを問う。</p> <p><u>2. 市国保税率負担の改善について (福祉部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>国保制度が広域化され、全国知事会が子どもの均等割り保険料軽減措置の導入を提言した。子育て支援政策とも関連した、この国保税率の改善検討を求める。</p>
9	渡辺 仁美 (市民の声)	<p><u>1. 大学等との協定について、その概要と今後の展望 (企画部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>本市と大学等との連携に関する協定について、連携と協定内容の概要を聞き、その実績と効果および今後の展望を問う。本市の各種団体等の活動においても、当該協定が生かされることを期待する。</p> <p><u>2. 本市の小学校英語教育の今後の展望を聞く (教育長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>新学習指導要領への移行時期を迎え、本市の小学校英語教育におけるかにつこ英語プログラムがその本領を發揮することを期待しつつ、今後の展望と展開について問う。</p>
10	山根 一男 (市民の声)	<p><u>1. 教員の過重労働を軽減するには (教育長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>文科省の 2016 年度調査によれば、一週間あたりの教諭の平均労働時間は、小学校で約 57 時間、中学校で約 63 時間に及ぶ。当市においての実態と、過重労働を軽減するための取り組みを問う。</p> <p><u>2. 公共施設の貸館使用料における営利非営利の判断は (福祉部長・企画部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>福祉センターの貸館の利用料は、入場料を徴する、または営利目的と判断された場合、1 時間あたり最大 10～15 倍の料金となる。お金を取ることを、即営利目的とすることが適切なのか。他の公共施設との整合性はどうか。</p> <p><u>3. 水道メーターの検針は適正に行われてきたか (水道部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>水道メーターの指示数の読み方が、変更された。これまで小数点以下を四捨五入していたのを、切り捨て、端数部分は翌月のカウントとなる。これまで何故、この方法の不備に気づかなかったのか。また、今後の対応は。</p>

**この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。**